

送り大師

高柳からスタート

今年の結願区（けちがんく）は高柳だと聞いていた。1日に高柳善龍寺を出発した東葛印旛大師講の送り大師一行は、すでに南増尾に来ていた。だから2日目の一番に到着するのが観音寺になる。8時前には本堂に机を並べた受付に燈明料を差し出した。



東葛印旛大師講は、5月1日から5日まで、松戸、鎌ヶ谷、柏、白井に所在する四国八十八か所の写し札所を巡拝する。送り大師という

全山真つ白、南無大師遍照金剛

1日は南増尾泊り、というけれど場所が分からなかった。松戸金ヶ谷の祖光院（44番）から逆井観音寺（69番）までは距離があるので途中に「掛所」が設けられている。増尾満福寺の分院があり、そこに泊まるという。

観音寺まですぐだ。ほら貝が聞こえ、背負われた送り大師の到来である。すでにバスに分乗してきた白衣に同行二人の袋を下げた人たちも多く、全山がたちまち真つ白に覆われる。大師像の立つ札所、観音堂、本堂で南無大師遍照金剛が唱えられ、般若心経、光明真言が流れる。

そして、あつという間に大集団は移動していった。藤心、増尾を回り、昼食は名戸ヶ谷・法林寺。戻った静寂の中に牡丹が満開だった。



④しよいこに背負われたお大師さんの入った厨子。次の結願区に届ける⑤牡丹見物に見える人たちへ賽銭箱に書かれた「廻向地震津波物故者各霊」への祈り

末広クラブ・逆井漫歩159 平成23年5月

至心発願 東北地震 津波原発
早期復興 天下泰平 民衆和楽

